

## 第4学年2組 社会科学習指導案

平成22年11月10日（水）第2校時  
T T

- 1 単元名 わたしたちの福井県  
小単元名 県の様子

2 小単元の目標

- ・福井県の様子に関心を持ち、地図等の資料を活用しながら進んで調べようとする。  
(関心・意欲・態度)
- ・市や町の県内における地理的位置や土地の様子、交通の様子の特色について考えることができる。  
(思考・判断)
- ・地勢図や土地利用図、写真等の資料を活用して県の様子をとらえ、特色を白地図等に表すことができる。  
(技能・表現)
- ・福井県の地理的位置や地形、主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置から県の特色や良さを理解することができる。  
(知識・理解)

3 小単元について

単元「わたしたちの福井県」は、県の様子について資料を活用したり白地図にまとめたりして学習を進めていく。その中で県の地形や産業などの概要や分布などに見られる特色をとらえ、地域の自然環境や、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について具体的に考えていくことを学習内容としている。3年生「わたしたちの福井市」の発展学習であり、5年生「わたしたちの生活と食料生産・工業生産」6年生「世界の中の日本」、さらに中学校での地理学習へとつながっていく単元である。ここで今後の地理学習の基礎を養うことは重要なことである。単元の構成は、「県の様子」「県内の特色ある地いきの暮らし」「県とわたしたちのまちの発てん」の順になっている。小単元「県の様子」では、県内における自分たちの市町の地理的位置、県全体の地形や産業の概要、交通網の様子、主な都市の位置について学習する。

4 児童について

社会科の学習に関心を持ち、意欲的に学習する児童が多い。これまで、越前和紙の里や九頭竜浄水場、クリーンセンター、東消防署、防災センターなどの見学を多く取り入れて学習してきた。児童は実物に触れることによって、いろいろな発見をし学習を深めることができた。五感を通した見学体験は学習をより深めるためにたいへん効果があった。

しかし、今回の「わたしたちの福井県」の学習では、全員で何カ所も見学することは困難である。そこで、保護者の協力も得ながら学習の資料（県内各地の観光パンフレットや写真、新聞記事、ホームページなど）を集めることにした。この活動は、児童にも好評で、集めることが楽しいと言う児童がほとんどである。中には、県内の17市町すべての資料を集めた児童もいる。また、出かけた先でいろいろな体験をしている児童も多い。このように、興味関心は高くなってきているが、それぞれの資料にどのような意味があるのか、土地の様子と生活の様子にどのような関連性があるのかについて考えようとする力はまだ不十分である。発表については、積極的に発言できる児童もいるが、良い考えを持っていても人前で発言することを苦手とする児童も見られる。

5 指導について

今年度の本校の研究主題『思いをふくらませ、自ら学ぶ子どもの育成～「つながり」のある学びの中で～』を受けて、個人テーマを『学ぶ意欲を高める郷土学習の工夫』と設定し、取り組みを進めている。「わたしたちの福井県」の学習においては、児童の興味関心や意欲を高め

るために4月から県内各地の観光パンフレットや写真、新聞記事、ホームページなどを集めさせている。その中から、自分が気に入ったパンフレットを紹介し合う活動を行った。また、単元全体のオリエンテーションとして、校内の掲示板に常掲している、県内17市町の観光ポスターを見せながら観光地や特産品について大まかに学習した。さらに、発展学習として「自分のおすすめの市や町の紹介ガイドブックづくり」を計画している。自分の力で1冊のガイドブックをつくり上げるというめあてを持たせることによって、学ぶ意欲の喚起を図っていきたい。その中で、学習する地域について、位置や周りの市や町、土地の様子、交通の様子などを調べ、白地図にまとめる等の活動を繰り返し、地図の活用、地図の見方・読み方の基礎を養っていききたい。

本時では、県の交通の様子について学習する。鉄道や道路・航路の広がり調べ、その特色をとらえさせる。その際、小中連携社会科部会の努力事項にもあるように、写真だけでなく、パンフレットやビデオ等の資料も用意し、児童のイメージを膨らませ意欲を高めていきたい。

## 6 指導計画（5時間配当）

時	学習内容	ね ら い	関	思	技	知	評 価 規 準
1	県地図や白地図を見ながら、自分たちの市や町の位置関係を調べ、表し方を理解する。	福井県の白地図を使い、自分たちが住んでいる市や町の位置、主な市や町の位置、町から町の距離などを理解することができる。	○			◎	<p>（知識・理解） 自分たちが住んでいる市や町の位置、主な市や町の位置、町から町の距離などを理解することができる。</p> <p>（関心・意欲・態度） 福井県の様子に関心を持ち、地図等の資料を活用しながら進んで調べようとする。</p>
2 3 4	地勢図・土地利用図・鳥瞰図を見ながら、地形と地形による土地利用の違いや県内の産業について理解する。	白地図に等高線ごとに色ぬりをしたり、福井県の地勢図・土地利用図などを見たりして、福井県の土地の様子や主な産業の概要をつかむことができる。	◎	◎	◎	◎	<p>（関心・意欲・態度） 意欲的に作業に取り組むことができる。</p> <p>（技能・表現） 地勢図から福井県の地形の特色を読み取ることができる。</p> <p>（社会的な思考・判断） 地勢図・土地利用図・鳥瞰図を比べることによって地形によって土地の使い方や産業が違っていることを指摘できる。</p>
5 本時	地形や都市との関係で、鉄道や道路がどこを通っているかを調べ、交通の広がりの特徴をとらえる。	福井県の交通の様子を調べることによって、鉄道・道路・航路で県内の市や町、他の県がつながっていることを理解することができる。		○		◎	<p>（知識・理解） 地図や資料を使いながら、県内の交通の様子についてとらえることができる。</p> <p>（社会的な思考・判断） 県内の交通の広がりの特徴について考えることができる。</p>

7 本時の目標

福井県の交通の様子を調べることによって、鉄道・道路・航路で県内の市や町、福井県と他の県がつながっていることを理解することができる。

8 準備物

写真、鉄道やフェリーのパンフレット、ビデオ、福井県地図、ワークシート、OHC

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)	
	T 1	T 2
<p>○これまでの県の様子の学習をふり返る。</p> <p>○学習課題をつかむ。</p>	<p>・前時までの学習の流れを思い出させる。</p> <p>・学習課題を提示する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     福井県の交通の様子はどのようになっているのだろう。                 </div>		
<p>○福井県内の知っている鉄道について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 北陸本線, J R 越美北線, J R 小浜線</li> <li>・ えちぜん鉄道, 福井鉄道</li> </ul> <p>○ワークシートの鉄道に色をぬる。</p>	<p>・ その鉄道を使ってどこへ行ったかについてふれさせる。</p> <p>・ 写真やパンフレット, ビデオを見せ鉄道のつながりについてイメージを膨らませる。</p>	<p>・ 遅れがちな児童を支援する。</p>
<p>○福井県内の知っている道路について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北陸自動車道, 舞鶴若狭自動車道</li> <li>国道 8 号, 国道 1 5 8 号, 国道 2 7 号など</li> </ul> <p>○ワークシートの道路に色をぬる。</p>	<p>・ その道路を使ってどこへ行ったかについてふれさせる。</p> <p>・ ほかの道路についても福井県地図から探させる。</p>	<p>・ 見つけられない児童に助言する。</p>
<p>○ワークシートの航路に色をぬる。</p>	<p>・ 敦賀からフェリーが出ていることに気づかせる。</p>	
<p>○交通の様子で分かったことや気づいたことを班で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道や道路, 航路などで県内の市や町, ほかの県とつながっている。</li> <li>・ 大きな道路や鉄道は, 県を南北に通っている。</li> <li>・ 道路や鉄道は, 平地を通っている。</li> </ul> <p>○班ごとに全体の場で発表し, 県内の交通の様子についてまとめる。</p>	<p>・ ワークシートに書かせる。</p> <p>・ 班の中で順番に発表させる。</p> <p>☆県内の交通の様子について考えたり, まとめたりすることができたか。 (ワークシート…知・理, 思・判)</p>	<p>・ 班を回り, ワークシートの書き方や発表の仕方について助言する。</p> <p>・ 発表が苦手な児童を支援する。</p>

10 授業の観点

写真やビデオ, パンフレット等の活用方法は, 学ぶ意欲を高めるために有効であったか。